

## 平成18年度公安調査庁が達成すべき目標に対する実績評価結果 要旨

### 1 評価結果の概要

- (1) 達成すべき目標1「国民の不安感払拭のため、オウム真理教に対する観察処分を厳正に実施する」については、おおむね達成できたと評価できる。
- (2) 達成すべき目標2「破壊的団体等の調査の過程で得られる情報を、必要に応じて政府や関係機関に適時・適切に提供する」については、おおむね達成できたと評価できる。

### 2 評価結果の今後の政策への反映の方向性

- (1) 現在、オウム真理教(以下「教団」という。)については、一部が“新団体”を設立した旨発表する一方、教団内の主導権争いをめぐる対立も深まっており、更に教団の活動状況及び危険性の全容を明らかにする必要がある。そこで、上記の評価結果を踏まえ、予算要求を通じて、教団に対する調査体制の強化を図り、観察処分を更に厳正に実施していく必要がある。
- (2) 国際テロや北朝鮮問題等をめぐる情勢は従前にも増して緊迫と混迷の度合いを深めており、現下、我が国の公共の安全を確保する上で早急に把握・解明すべき重要課題が多数存在している。そこで、上記の評価結果を踏まえ、今後更に政府の政策遂行に寄与していくため、予算要求を通じて、情報収集及び分析・評価能力を質・量ともに一段と向上させるとともに、調査体制を充実強化していく必要がある。